

事業報告書 団体名:リズムフェス実行委員会

事業名

プチリズムフェス パーカッションであそぼう♪

【当初計画の事業目的(取組課題)と実施効果】

地元高津区のホール「すくらむ 21」にて、夏休み中である 7 月 28 日(金)午前中に、ドラムサークル(※)を開催。支援学校や福祉施設、近隣の小学校等イベントを案内(チラシ・ポスター等を想定)し、最大 100 名を無料参加とする。

高津区において、障がいの有無に関係なく全員で遊ぶことのできる「ドラムサークル」の認知度を少しずつ高め、「誰もが文化芸術活動に親しんでいるまち」の形成を目指し、パラアートを推進できるモデルとなるよう努める。

※・・・ドラムサークルとは

太鼓を円形に並べ、自由に叩く即興ドラムコミュニケーション。ファシリテーターというガイド役が立ち、参加者の楽しい気持ちを引出しながら、一体感のあるリズム空間へと導く。

【事業目的】

私たちは、長く住んでいる川崎市を、障がいの有無に関わらず「誰もが住みやすい街」にしたいと考えている。

ここでいう「住みやすい街」は「地域に住まう人たちが、障がいの有無に関係なく、人とのつながりや、人の役に立つことに喜びを感じ、人と関わる事でこのまちがより好きになり、自ら参加したいと思える場所や機会がある街」と定義している。

【背景】

「ドラムサークル」は楽譜がなく、成功や失敗もなく、貸し出す楽器を自由に鳴らすだけなので、障がいを持つお子さまとそのご家族でも、障がいのないお子さまをもつご家族でも、リズムアンサンブルを楽しみたい個人の方でも、みんなで一緒に遊ぶことができる。

【取り組み課題】

一緒に遊ぶことが大切だと思う理由は、どんな方が集まっても「独りではない」という安心感を得る事ができるという事である。例えば、人とつながりたいと思っていても方法が分からずに孤独を感じている人、障がいを持つお子さまを育てている保護者やご本人、子育て中であれば「孤(こ)育て」を感じている保護者、介護・看護・福祉など周囲から適切な支援を得られず「社会的孤立」の状態にある方、人との関りがないために自らが孤立していると気付けない人など、どのタイプの方でもリズムによる一体感が生まれることにより、「ここに居ていい」という安心感を得ることができる。

また、普段「ダメ」と言われてしまうことが多いであろう障がいを持った人たちもイキイキと自由に遊ぶことができ、障がいを持たない人たちは、様々な人と空間を共にすることで、多様性を認めるキッカケとなる。

このような事から、私たちは「ドラムサークル」を用いたリズムコミュニケーションを使って、人と人をつなげ、孤独を感じる人を減らし、社会的処方を実施する「ドラムサークル」を川崎市で広げたいと考えている。

【ドラムサークルを実施・継続することで得られる効果】

◎障がいの有無に関係なく、誰もが参加できる場がある安心感

◎誰でも活動可能な内容なのでハードルが低く、参加しやすい

◎参加者がその後サポートスタッフとなり人の輪が広がる事が多くある

◎活動に興味がある方の参加やお手伝いを仰ぐことで、障がいの有無に関係なく地域の人と繋がる事ができる

◎ドラムサークルに参加し、必要とされる喜びを得られる

◎ドラムサークルは性別・年齢・国籍・障がいの有無に関係なく、多様な繋がりが可能であり、誰もが気軽に集える地域の居場所となり得る。

次のとおり、過去の参加者の声からもその効果が分かる。

【参加者の声】

・親子、単身の大人、孫を連れて祖父母様、色々な年齢層の方から

「大人も子どもも一緒に参加できるのが楽しい、いつもどこで開催しているのですか？」

・高齢の方が多い施設の利用者、職員から

「太鼓を叩いたり、みんなで歌ったりすることで昔の記憶が蘇ったりして元気が出る」

・養護学校や盲学校、聾学校の教諭、保護者から

「普段”ダメ”と多く言われてしまう子どもたちが生き生き活動する姿を見て大人も幸せを感じる事ができた、また来て欲しい」

・川崎市の寺子屋事業：小学校の職員から

「普段とは違う子どもたちの楽しそうな姿、自発的参加（自ら意見を発するなど）を目の当たりにして、参加者主体の即興リズムで遊ぶドラムサークルは、ルールに捉われてしまいがちな小学生たちに必要だと思った」

【実施結果(成果)】

▼行事について

タイトル 「プチリズムフェス パーカッションであそぼう♪」

日程 2023年7月28日(金)

時間 受付 9:50～、開演 10:15～、閉会 11:15

会場 川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)

川崎市高津区溝口2丁目20番1号 <https://www.scrum21.or.jp/facility/access>

募集人数 100名(予約制。申込多数の場合は抽選)

参加費 無料

対象者 川崎市在住の方、子どもたち&障がい児(成人も可)未就学児同伴可

出演者

アフリカン演奏&ダンスチーム MAMADO 13名 <https://www.africanmamado.com/>

ドラムサークルファシリテーター 川野めぐみ <https://ioranamusic.com>

▼当日のタイムテーブル

時刻	行動
8:30	実行役員&ボランティア 集合 10分ミーティング @ すくらむ21ホワイエ
8:45	搬入・準備開始 4チームに分かれ行動
9:35	ホワイエオープン
9:50	受付開始
10:00	入場
10:15-11:15	開演・本番
(10:15-10:30)	MAMADO
(10:30-10:40)	レイアウト変更&楽器配布
(10:40-11:15)	ドラムサークル
11:15-12:00	終演・撤収開始→完全
12:00-12:15	撤収 全体 解散ミーティ ング

▼参加者数、内訳

参加内訳	知的障がい	聴覚障がい	肢体
大人	47	1	1
小学生	26	3	
中学生以上学生	2	1	
未就学児	32		
車いす	5		5
参加人数	112	5	1

▼広報)チラシ発行

部数 4,000部 (3,612部配架+手配り、当日掲示利用)

配布先その1(実行委員配布担当分) 下表を参照

配布先その2(川崎市文化財団協力分) 右表を参照

直接依頼		近隣2校 4年生迄	その他 学校 特別支 援級	直接依 頼分	配布合計
すくらむ21	30	1560	84	70	1714
近隣店舗など	40				

プチリズムフェス広報記録 (川崎市文化財団)

チラシ配布	
各区の区役所・市民館・図書館等	550
田島支援学校	296
中央支援学校	228
聾学校	52
高津養護学校	244
中原養護学校	228
財団所管施設(ラゾーナ川崎プラザソル)	30
財団所管施設(川崎市アートセンター)	30
財団所管施設(アートガーデンかわさき)	30
地域療育センター(南部、中央、西部、北部)	80
大山街道ふるさと館	30
その他(各学校教員用予備分)	100
	1898

▼広報)紹介動画制作

・「パーカッションであそぼう♪」の開催会場・イベントイメージ案内動画

https://www.instagram.com/reel/CufCHEHJmv1/?utm_source=ig_web_copy_link

▼広報)専用ホームページ作成、SNS Instagram 投稿画像作成、拡散依頼実施

HP、SNS等での発信	
ばらあーとねっとHP	https://kbz.or.jp/paraartnet/para_event/20230728-2
ばらあーとねっとFacebook、Instagram	7/4、7/10投稿
音楽のまち・かわさきHP	https://www.ongakunomachi.jp/event/34075/
音楽のまち・かわさきメールマガジン	914号 (7/18送信)
関係団体への情報提供	
豊かな地域療育を考える連絡会	7/10会員へメール送信
パラアート推進公募型委託事業 採択団体	メール送信
その他	
川崎市記者クラブ	7/7報道資料投げ込み (30部)
音楽のまちラジオ「ミュートンパーク」	7/4放送 (野村さんご出演)
音楽のまち情報誌「プチマガジン」	2023年7～8月号掲載 (3万部)

▼運営スタッフ、当日ボランティア人数イベントコーディネーター2名、当日ボランティア15名

【実際の効果と課題】

【計画を上回った効果】

パラアートイベントに初挑戦の私たちの集客力を考えると、計画時に想定していた集客は定員100名に対して、8割予想でした。実際は7/28開催に対して1カ月を切ってしまう、広報期間が短くなってしまった7/1からSNSにて発信、数日後にフライヤー配布を進めて広報活動をしました。

同時に、川崎市文化財団様の広報支援を頂き、自分たちでは届けられないまちの人へ情報を届けていただいたこと、その効果は7/22に申込み多数につき受付終了に現れました。

短時間で100名を超える申込みをいただき、その反響に手ごたえを感じました。

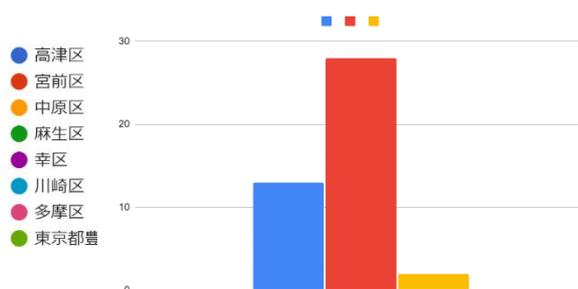
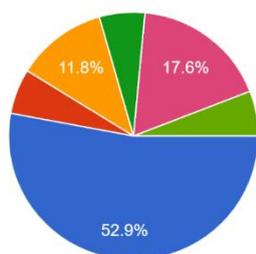
【具体的な効果】

参加者アンケートについて、17名の参加者(代表者)からの回答分析結果は次のとおり

- ・住まいについて、高津区が一番多く、幸区・川崎区は参加がなかった。
- ・性別について、女性が多かったことが分かる
- ・年代について、小学生・幼児(3～5歳)の順に親子連れが多かったことが分かる。またシニアも多かった。
- ・総合的な満足度について 76.5%が最高値5を選択していた。最低値1は、コメント欄のメッセージから入力ミスだと推測することができている

お住いの場所はどちらでしょうか。

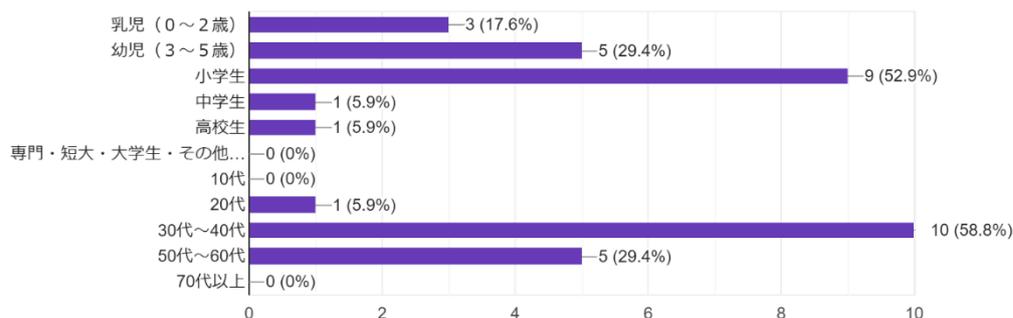
17件の回答



青：男性 赤：女性 黄色：回答しない

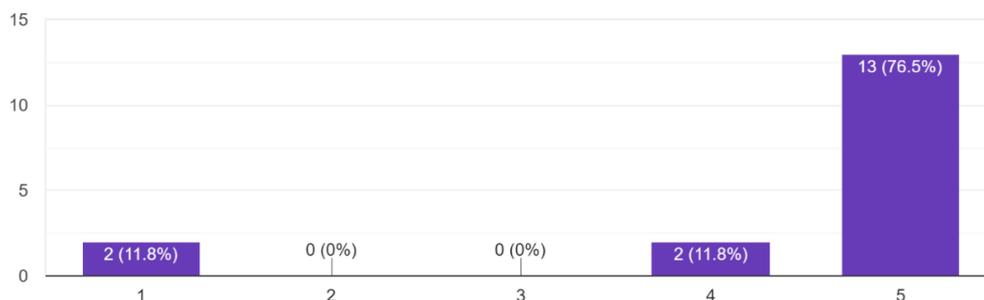
一緒に参加した方、全員の方についてチェックしてください（複数可能）

17件の回答



イベントの総合的な満足度

17件の回答



▼参加者からの声

>涙が出そうほど感動しました！自然と子供も笑顔になっていました！

>アフリカの楽器と音楽に楽しませていただきました！

>自由度が高く子供も大人も楽しめました。ダンスは馴染みのないもので、小学生の子供は少しつまらなさそうでした…

>たくさん叩けて楽しかったです。一体感がすごくて感動しました。

>全員が参加できる素晴らしい会、大変楽しめました。

>子どもは太鼓と踊りが一緒の時にとっても興奮して楽しんでいました。後半の太鼓で遊んだ後に、も一度ママドゥさんも含めて、みんなで踊りながら叩く時間があたらより嬉しかったと思いました

>素敵なコスチューム、カッコいいアフリカダンス、そして太鼓の響き、それなのに敷居の低い、というか敷居のない音楽がとても楽しかったです。やらされてる感が全くなくて、ドキドキなくて（良い意味です！）、いつのまにか皆で笑顔になって日頃の疲れが吹き飛びました。めぐ先生はじめ素敵なスタッフの方々に素敵な時間を提供していただき、暑さを忘れて楽しいひとときでした。子どもたち、家に着いて アシエ～アシエ～と歌っています。ありがとうございました！

>障害（凹凸があるなど）のある児童と定型児童とが一緒に空間で、それぞれの感覚で楽しむことができているように感じて良かった。親自身も「自分たち親子のような親子も参加している」という状況に ちょっとホッとできた感がある。

>子どもも 伸び伸びと楽しんで参加していたことや、『自分もやりたい！』と舞台にあがる勇気や自信が持てた経験が、親にとっても嬉しいことだったので、今回のイベントに関わってくださった色々な方にとっても感謝したい。

>引っ込み思案でならない環境では緊張してしまうことが多い息子ですが、自ら積極的に太鼓でリズムをとり、最後には舞台まで上がり、びっくりしました。親子ともどもとても素敵で楽しい時間をありがとうございました。次回もぜひ楽しみにしています。

>本格的な楽器を実際に叩かせて頂き、楽しかったです。

>みんなで楽しく単純に楽しめたイベントでした

>異国のダンスが、服も音も全てが刺激的で一緒に踊りたくなるほど楽しかったです。

>沢山の方々に体験してもらいたいと思いました。

【課題及び今後の展望】

▼従来からの課題

ドラム OK の会場が少ない ⇒ 今後、活動の場を拡げるにあたりポイントになってくる重要課題

▼実施したことで把握できた課題

- ・サポート配慮が必要な方の情報を事前により具体的に把握することが当日のスムーズな運営に必要であること
- ・ホールにてのドラムサークルの場合、楽器の回収に人手と手間がかかるため、ボランティア確保が重要であること
- ・写真撮影の配慮について、障がいの有無に関わらず、保護者と子ども双方についての撮影不可情報の把握と座席配慮、

カメラマンへの目印など、人数が多くなるほど細やかな対応に人手と手間がかかるため、工夫が必要であること

・ダンスチームとドラムサークルの掛け合いなどがあることで、お互いの魅力や、異文化理解など参加者が体験できることが深まる場ができるということ

・事前にダンスチームとの流れと場づくりについてのコミュニケーションが不足していたことでより良く出来る可能性があったこと

▼今後の展望

・当日、開催後に行ったふりかえりの場には、出演者も運営スタッフもボランティアも一同に揃って意見交換ができた。これにより具体的な改善点などをその日のうちに話し合い、共有しあえたことがとても良かった。継続したい。

・運営スタッフの人数を増やすことで、継続しやすい組織にしたい

・当日ボランティアスタッフをまちに対して、呼びかけて募り、関係人口を増やしたい

・今回、参加者が少なかったエリアにてドラムサークルを体験できる場を届けたい

・今回、参加者がいなかった世代(学生～10代、20代、70代以上)に対して、ドラムサークルを体験できる場を届けたい